

環境科学院 地球圏科学専攻

修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】 平成28年2月8日（月）

●座長：宮崎 雄三（大気海洋化学・環境変遷学コース助教）

13：30－13：50 片山 直紀（雪氷・寒冷圏科学コース）

「グリーンランド北西部におけるカービング氷河の表面高度変化」

13：50－14：10 小林 理央（大気海洋物理学・気候力学コース）

「南極アデリー海岸沿岸域における水塊特性の経年変動に見られる  
海洋－氷床相互作用」

14：10－14：30 吉田 和広（大気海洋化学・環境変遷学コース）

「Effects of light, iron and temperature on the photophysiology  
of phytoplankton in the western subarctic Pacific」

（西部北太平洋亜寒帯域に生息する植物プランクトンへの光・鉄・温度制限）

< 20分休憩 >

●座長：藤吉 康志（雪氷・寒冷圏科学コース特任教授）

14：50－15：10 田村 健太（大気海洋物理学・気候力学コース）

「冬季北海道西岸沖に発生するポーラーロウに対する下部境界条件の役割」

15：10－15：30 一木 拓哉（大気海洋物理学・気候力学コース）

「夏季南アジアにおける降水の季節内振動、日変動に関する研究」

15：30－15：50 山内 泰孝（大気海洋物理学・気候力学コース）

「係留観測による北極チャクチ海沿岸域の流速変動に関する研究」

【第2日目】 平成28年2月9日（火）

●座長： 吉森 正和（大気海洋物理学・気候力学コース准教授）

10：00－10：20 佐藤 博紀（大気海洋物理学・気候力学コース）

「In situ 及び各種地上リモートセンサーを用いたグライダーに  
動揺をもたらす大気の成層・乱流構造の観測」

10：20－10：40 土井 猛史（大気海洋化学・環境変遷学コース）

「モンゴル森林-草原境界域のカラマツ年輪酸素同位体比の変動要因」

10：40－11：00 門田 萌 （雪氷・寒冷圏科学コース）

「グリーンランド北西氷床(SIGMA-D)アイスコア化学解析に基づく  
小氷期以降の環境変動」

< 20分休憩 >

●座長： 杉本 敦子（大気海洋化学・環境変遷学コース教授）

11：20－11：40 原田 くるみ（大気海洋化学・環境変遷学コース）

「中部太平洋赤道域におけるアーキア細胞膜脂質の時系列変動」

11：40－12：00 鈴木 健太（大気海洋化学・環境変遷学コース）

「最終氷期以降の西部北極海堆積物の層序と起源」

12：00－12：20 中井 淑恵（大気海洋化学・環境変遷学コース）

「過去1万5千年間における水月湖湖底堆積物への元素状炭素供給量の変動要因」

< お昼休み 12：20－13：30 >

●座長：長谷部 文雄（大気海洋物理学・気候力学コース教授）

13：30－13：50 加藤 龍太（大気海洋物理学・気候力学コース）  
「大気の熱収支からみたオホーツク海の海氷の特性」

13：50－14：10 松野 智 （雪氷・寒冷圏科学コース）  
「グリーンランド北西部における氷床から海洋への融解水流出」

14：10－14：30 小林 慈英（大気海洋物理学・気候力学コース）  
「閉じた矩形海洋における渦の軌跡とその軌道決定メカニズム」

14：30－14：50 濱野 勇臣（大気海洋物理学・気候力学コース）  
「中高緯度の温暖化が熱帯の降雨分布に与える影響」